

イスラーム勉強会 テキスト

預言者ムハンマドの生い立ち第1回

勉強開始時のドゥアー

ビスミ = ッラーヒ = ッ = ラフマーニ = ッ = ラヒーム。

(慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において)

بسم الله الرحمن الرحيم

アル = ハムドゥ・リッラーヒ・ラッピ = ル = アーラミーン。

(あらゆるものの主アッラーにこそすべての称讃あれ)

الحمد لله رب العالمين

ワ・アフダル = ッ = サラーティ・ワ・アタンム = ッ = タスリーミ・アラー・サイイディナー・ムハンマディン・ワ・アラー・アーリヒ・ワ・サハビヒ・ワ・サッラム。

(そして我らが指導者ムハンマドさまとそのご家族、ご教友に最高の祝福と平安がありますように)

وأفضل الصلاة وأتم التسليم على سيدنا محمد وعلى آله وصحبه وسلم

アッラーフンマ・アフリジュナー・ミン・ズルマーティ = ル = ワハム。

(アッラーよ、どうか私たちを思い込みの闇から救い出してください)

اللهم أخرجنا من ظلمات الوهم

ワ・アクリムナー・ピ = ヌーリ = ル = ファフム。

(理解の光をお恵みください)

وأكرمنا بنور الفهم

ワ = フタハ・アライナー・ピ = マアリファティ = ル = イルム。

(知識の扉をお開きください)

العلم وافتح علينا بمعرفة

ワ・サッヒル・アフラーカーナー・ピ = ル = ヒルム。

(私たちの性格を温和さでより穏やかなものとしてください)

وسهّل أخلاقنا بالحلم

ワ = ジュアルナー・ミンマン・ヤスタミウーナ = ル = カウラ・ファ = ヤッタビウーナ・アフサナ (フ)。

(そしてどうか私たちを、言葉に耳を傾け、その中でも最善のものに従う者たちの一員としてください)

واجعلنا ممن يستمعون القول فيتبعون أحسنه

このテキストの注意事項

- * テキストを作成する上での参考文献は基本的に日亜対訳・注解クルアーン（宗教法人日本ムスリム協会発行）及び預言者ムハンマドの足跡を辿って＜前編・生誕からヒジュラ（マディーナへの移住）まで＞（アフマド・クフターロー師の預言者伝講義より）訳アブー・サキーナ前野直樹によります。
その他については都度注釈を付けることを心がけます。
- * 預言者ムハンマドのお名前を聞いたり、口にしたりする時は、「まことにアッラーと天使たちは預言者を祝福する。信仰する者たちよ、汝らは彼を祝福し、最大の敬意を払って挨拶しなさい」（クルアーン33章56節）とクルアーンにあるように、必ず「アッラーの祝福と平安あれ（サッラ＝ツラーフ アライヒワ サッラム）」と祈るのがムスリムとしての礼儀ではある。しかし本テキストではあえて割愛させて頂いた。しかしムスリムの方は各自お祈りの言葉を唱えて頂きたい。
- * 本テキストで旧約聖書・新約聖書等にも登場する預言者達の名前が出てくる場合は、全てアラビア語読みとします。一例とすると「アダム」は「アーダム」、「ノア」が「ヌーフ」、「モーセ」が「ムーサ」、「イエス」が「イーサー」である。
- * アラビア語を日本語にする時にどうしても当てはまらないニュアンスの単語があり、日亜対訳・注解クルアーンと違う説明が出てくる時もあるが、出来るだけこれについても引用文献の注釈を付けることを心がけます。
- * 基本的にこのテキストでは、文献に基づいた事柄を中心にしますが、制作者の個人的な意見も書く場合があります。その場合も注釈を入れます。
- * イスラームを勉強する場合は、ムスリム（人間）を見ないようにといわれています。どの宗教でも同じですが、完全な人間はいませんので、あるムスリムを見て「あれがイスラームか」と納得しないで頂きたいと思います。出来るだけ信頼の高い文献で裏付けするか、同じ事柄を複数のムスリムに聞いた方が良いでしょう。正しい知識を得る努力をして下さい。
- * 本テキストへのご意見・疑問・質問等ありましたら制作者までお問い合わせ下さい。

بسم الله الرحمن الرحيم

アッサラーム アライクム

ムハンマドの基礎知識

ムハンマドの名前

ムハンマド・ブン・アブドゥッラーといひます。(アブドゥッラーの息子という意味)

西暦570年5月12日月曜日生まれ(現サウジアラビアのメッカ)

西暦632年 現サウジアラビアのマディーナにある自宅で没

西暦610年8月19日(のちにライラトゥ=ル=カドルと言われる)の夜に初めての啓示があった。その後ムハンマドが没する23年間啓示は続く。

西暦611年クルアーン第74章1~5節の啓示からイスラームの宣教が始まる。

祖父 アブドゥ=ル=ムッターリブ

父 アブドゥッラー 母 アーミナ

父はムハンマドが母の体内にいる時に亡くなった。

当時のアラブの習慣で、子供達は砂漠で養育していた。

ムハンマドは5歳になるまでの乳母ハリーマと過ごした。

6歳からは乳母はウンム・アイマンに変わった。

その年に、母アーミナとムハンマド及びウンムアイマンはマディーナにいる兄弟の元を訪ねた。そしてメッカ(自宅)への帰路の途中、母アーミナは亡くなる。

その後、祖父であるアブドゥ=ル=ムッターリブがムハンマドを引取り育てることとなる。

ムハンマド8歳の時に、その祖父も亡くなってしまふ。

叔父であるアブー・ターリブがムハンマドを13番目の息子とし育てることとなる。

実際の勉強会では更に詳しく口頭でお話ししています。

興味のある方は是非勉強会へお越し下さい。また質問等も受付致します。

次回は、ムハンマドとハディースの結婚